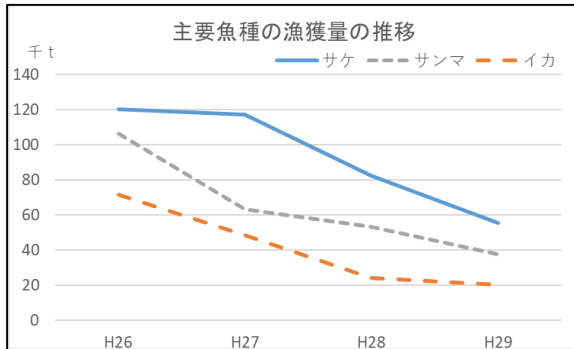


現状と課題



水産加工業者の状況

- ・ 事業所数、製造品出荷額は減少傾向。

	H27	H29
事業所数	892社	789社
製造品出荷額	7,405億円	6,745億円
- ・ 消費税増税、最低賃金の引き上げ、働き方改革の進展等に伴い、経営を巡る環境は一層厳しさを増すことが懸念。

主要魚種の不漁に直面する「水産加工関連事業者」の経営体質の強化と経営の安定化を図る観点から、本庁及び14振興局に産業支援機関と連携して、「ワンストップ相談窓口」を創設。これらプラットフォーム機関とのネットワークにより相談対応等の支援の強化を図るとともに、生産性向上や経営革新など企業の課題解決に向けた集中的かつ継続的な支援を検討

今後の取組

水産加工関連事業者への支援

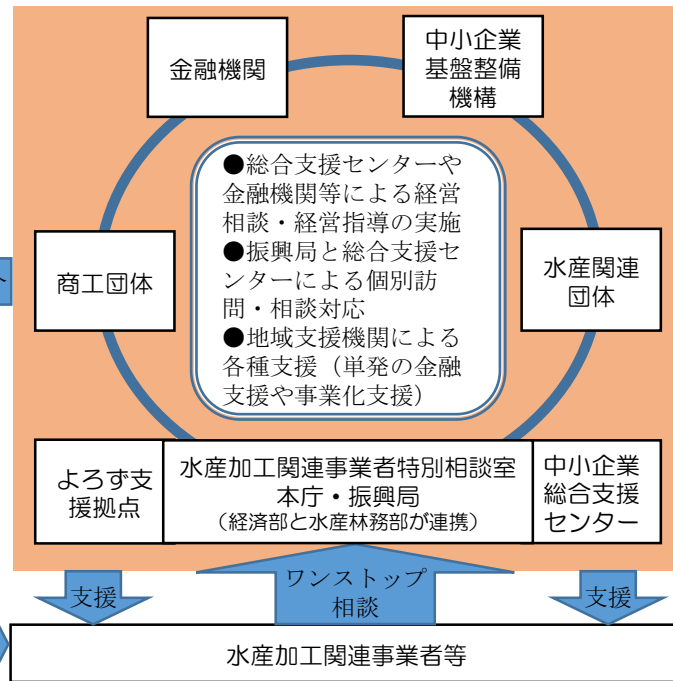
集中支援

【想定される事業内容】

- ① 6圏域に本事業の一次相談窓口を設置
- ② 支援対象事業者の選定（公募）
- ③ 支援対象事業者の課題を抽出
- ④ 課題に応じた専門家（中小企業診断士、技術士、社会保険労務士等）を派遣し、継続的な伴走支援を実施（1社につき複数回の派遣を想定）
 《個別支援の例》製造ラインの効率化による生産性向上、経営革新（業態変化や新事業）、先端設備導入、専門家による働き方改革
- ⑤ 支援対象事業者のフォローアップ

企業全体への支援

金融機関、商工団体、水産関連団体等のプラットフォーム。



水産庁・経済産業省（中小企業庁）